

收穫の有つた

一九三二年

一九三二年は、日本にも、伯國にも、其の他の國にも事件が多かつた、そして其の事件なるものには、嚴格なる意味に於て、良いものもあつたし、否もあつたが、總じてそれが、吾々に學ばしむべきものであつたのだ。

近い處から云ふならば、伯國の七・九革命は、三ヶ月の間官叛入り、亂れて戦つての結果、少くならざる人命を廃し、國帑を費し何等得る處がなかつたやうであるが、此の革命に於て、外國との關係密接なれる今日、輕卒に國民の一部が中央政府に立衡いて見た處で、容易に勝つ立のないことが明かとなつたと共に、國內の騒擾は外國に乗せられ、結局不利に終らざるを得ないことが明瞭となつて来たを副産物とする。

又、伯國に隣接するパラグアイとボリビアとの戦争は、何とボリビア時代に経験する國でも幼稚時代に経験する解决を調停の方法によつて行はれたが、試みたが非常なる困難に遭つたのであるから、國遇し、その事業の實現をなし得ない有様である、現に自己の要求を貫徹せしめやうとして居る第九章及び第十一章の討議は、その日本のみではない、支那も必要とするなら是れも仕方ないとして、國際聯盟通りが亞米の態度をしてゐる。

日支關係の解決に腐心しつつある十九ヶ國委員會は日支兩國の主張の調和を計る調停案の起草をなした、然し各國の代表が受取つた通告には幾多の保留が示すべしと言ふにある。

從來聖州珈琲の輸出には他州のため一時十五志税低減の風評として採るべき態度に就て各列

伯刺西爾時報

二週一紙本
行發期
開設
年
四六七〇
新
日本
第一
伯刺西爾時報社

依然遼遠

解決の前途

十九ヶ國委員會は
來一月十五日再開
聽く處に依ると委員會は目下この基本案の修正に考慮を拂ひ、
「原狀復歸」の困難を説き、問題の解決は實状に即して之を行ふ

日本に至らずして経過せるは、喜

云ふ我盡勝手な心からにて、
日本に強く出らるれば回まるを得なかつたを痛快なりとする。

即ち歐羅巴強國の埃及や土其古
に對し行つた脅威や、北米が巴
日本一國の自由にさせたくない事
と云ふ我盡勝手な心からにて、
あるから憂慮はしが、事大

大なる惡影響を持ち來らるもの

世界不況問題も、元々關稅や
國際政治の缺陷から醒された者
が十九日午後に至り初めて局

面に一轉向を示し來つた、五列

書の意見を容るゝに止める見

事に至つたものでないの裡に一
九三二年を送り得るを

としても、是れから生ずる外交幸ひとする。

強會議は公式に兩國關係事務局代

九ヶ國委員會は十九日全

て十九ヶ國委員會は十九日全

表の陳述するところを聽き、次

に對し行つた脅威や、北米が巴

日本が共和國から醒された者
が十九日午後に至り初めて局

面に一轉向を示し來つた、五列

書の意見を容るゝに止める見

事に至つたものでないの裡に一
九三二年を送り得るを

としても、是れから生ずる外交幸ひとする。

強會議は公式に兩國關係事務局代

九ヶ國委員會は十九日全

て十九ヶ國委員會は十九日全

表の陳述するところを聽き、次

に對し行つた脅威や、北米が巴

日本が共和國から醒された者
が十九日午後に至り初めて局

面に一轉向を示し來つた、五列

書の意見を容るゝに止める見

事に至つたものでないの裡に一
九三二年を送り得るを

としても、是れから生ずる外交幸ひとする。

強會議は公式に兩國關係事務局代

九ヶ國委員會は十九日全

て十九ヶ國委員會は十九日全

表の陳述するところを聽き、次

に對し行つた脅威や、北米が巴

日本が共和國から醒された者
が十九日午後に至り初めて局

面に一轉向を示し來つた、五列

書の意見を容るゝに止める見

事に至つたものでないの裡に一
九三二年を送り得るを

としても、是れから生ずる外交幸ひとする。

強會議は公式に兩國關係事務局代

九ヶ國委員會は十九日全

て十九ヶ國委員會は十九日全

表の陳述するところを聽き、次

に對し行つた脅威や、北米が巴

日本が共和國から醒された者
が十九日午後に至り初めて局

面に一轉向を示し來つた、五列

書の意見を容るゝに止める見

事に至つたものでないの裡に一
九三二年を送り得るを

としても、是れから生ずる外交幸ひとする。

強會議は公式に兩國關係事務局代

九ヶ國委員會は十九日全

て十九ヶ國委員會は十九日全

表の陳述するところを聽き、次

に對し行つた脅威や、北米が巴

日本が共和國から醒された者
が十九日午後に至り初めて局

面に一轉向を示し來つた、五列

書の意見を容るゝに止める見

事に至つたものでないの裡に一
九三二年を送り得るを

としても、是れから生ずる外交幸ひとする。

強會議は公式に兩國關係事務局代

九ヶ國委員會は十九日全

て十九ヶ國委員會は十九日全

表の陳述するところを聽き、次

に對し行つた脅威や、北米が巴

日本が共和國から醒された者
が十九日午後に至り初めて局

面に一轉向を示し來つた、五列

書の意見を容るゝに止める見

事に至つたものでないの裡に一
九三二年を送り得るを

としても、是れから生ずる外交幸ひとする。

強會議は公式に兩國關係事務局代

九ヶ國委員會は十九日全

て十九ヶ國委員會は十九日全

表の陳述するところを聽き、次

に對し行つた脅威や、北米が巴

日本が共和國から醒された者
が十九日午後に至り初めて局

面に一轉向を示し來つた、五列

書の意見を容るゝに止める見

事に至つたものでないの裡に一
九三二年を送り得るを

としても、是れから生ずる外交幸ひとする。

強會議は公式に兩國關係事務局代

九ヶ國委員會は十九日全

て十九ヶ國委員會は十九日全

表の陳述するところを聽き、次

に對し行つた脅威や、北米が巴

日本が共和國から醒された者
が十九日午後に至り初めて局

面に一轉向を示し來つた、五列

書の意見を容るゝに止める見

事に至つたものでないの裡に一
九三二年を送り得るを

としても、是れから生ずる外交幸ひとする。

強會議は公式に兩國關係事務局代

九ヶ國委員會は十九日全

て十九ヶ國委員會は十九日全

表の陳述するところを聽き、次

に對し行つた脅威や、北米が巴

日本が共和國から醒された者
が十九日午後に至り初めて局

面に一轉向を示し來つた、五列

書の意見を容るゝに止める見

事に至つたものでないの裡に一
九三二年を送り得るを

としても、是れから生ずる外交幸ひとする。

強會議は公式に兩國關係事務局代

九ヶ國委員會は十九日全

て十九ヶ國委員會は十九日全

表の陳述するところを聽き、次

に對し行つた脅威や、北米が巴

日本が共和國から醒された者
が十九日午後に至り初めて局

面に一轉向を示し來つた、五列

書の意見を容るゝに止める見

事に至つたものでないの裡に一
九三二年を送り得るを

としても、是れから生ずる外交幸ひとする。

強會議は公式に兩國關係事務局代

九ヶ國委員會は十九日全

て十九ヶ國委員會は十九日全

表の陳述するところを聽き、次

に對し行つた脅威や、北米が巴

日本が共和國から醒された者
が十九日午後に至り初めて局

面に一轉向を示し來つた、五列

書の意見を容るゝに止める見

事に至つたものでないの裡に一
九三二年を送り得るを

としても、是れから生ずる外交幸ひとする。

強會議は公式に兩國關係事務局代

九ヶ國委員會は十九日全

て十九ヶ國委員會は十九日全

表の陳述するところを聽き、次

に對し行つた脅威や、北米が巴

日本が共和國から醒された者
が十九日午後に至り初めて局

面に一轉向を示し來つた、五列

書の意見を容るゝに止める見

事に至つたものでないの裡に一
九三二年を送り得るを

としても、是れから生ずる外交幸ひとする。

人を求む!

ソロカバナ線サントアナスタシオ驛地方代理人織田春義氏と双方の都合上業務に於ける一切の關係を断ち候間爾後當會社この取引は直接小生宛御願申上候依而辱知諸彦に此段御通知申上候
昭和七年十二月

北バラナ土地會社

日本人部總代理人 氏原彥馬

フラジル一流の大會社

マタラザ商會が

ビール醸造に經驗ある人

麥を醸醉させる事

経験ある人を求めて居ります

委細のことは左記宛御照會下さい

伯刺西爾時報社

營業部

Caixa Postal, H. S. Paulo

聖市三郎治武謹...電話四一三六九五

市ビニエイロ
ブランタン街二八B

3 and. apt. 12 Tel. 4-3691

診療時間毎日午後二時半より六時まで

◎月後雑誌着荷

洋食堂
ビニエイロでの御食事は是非親切町寧、安價な當洋食堂へ

○婦人書報(五、六月) ○少女書報(六月)

○オーラル讀物號 ○コドモノクニ(五月)

○滿蒙研究號(附錄最新滿蒙地圖)

全卷凡て満蒙研究の記事満載、之に依つて満蒙の正確なる全知識を與へられ、又その真相を握り得らる。

○模型雜誌

全卷どの頁を取り出しても、之を組み立てる事立派な自動車、飛行機、軍艦やタンクとなり飛び出すと云ふ小學生徒達の手工指導雜法

聖市イノマン・シンブリシアナ街五四

郵函——三一三八

東洋書院

發起人一同

講語義

本會の經營に係る小學校教材購入、運動場新設等に依り經費加重の折から左記篤志家より多大な寄附を賜り候に就ては御芳名を發表し感謝の意を表すと共に之を以て領收證に代へ由すべく

候間右御諒承被下度候

昭和七年十二月

告

故山田隆次氏墓碑
(第三回)
聖州新報
建設寄附者芳名

謹告

本會の經營に係る小學校教材購入、運動場新設等に依り經費加重の折から左記篤志家より多大な寄附を賜り候に就ては御芳名を發表し感謝の意を表すと共に之を以て領收證に代へ由すべく

御相談=José Camerino
Rua Direita, 6, 3º andar
Sala 2, S. Paulo
午後一時半より六時迄

ジュケーリ同志會

粗品進呈
十二月十日ヨリ
同三十一日マデ

年末大賣出

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

年末大賣出

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

商
年
末
大
賣
出
粗品進呈
十二月十日ヨリ
同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈
十二月十日ヨリ
同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日ヨリ

同三十一日マデ

粗品進呈

十二月十日

支那、米國の支援で 空軍の充實を急ぐ

日本近信▲

日本の國防に及ぼす影響甚大

上海事件に刺殺された支那國民實輸入禁止と同じ結果となる爲政府は、空軍の大擴充によつてにその成行は頗る注目され、國防の完璧を期すべく、事變後も使を米國に遣して折衝せしめた結果、今春以來米國から支那に送られた最新式戰闘機は約百五十臺に達し、現に継々到着中であるが、一方教官の名の下に來支した米人飛行將校の數は數十名の外さに達し、杭州及び南京の飛行場に於て専ら支那空軍の擴大充實に努力してゐる。然るに最近更に海州、南昌等に於て兩省次官、經濟局長、代理局長、於て兩省の妥協成立するに至つて、兩省の割當額は左の如くである。兩省の割當額は左の如くである。

紛糾を重ねて 國防費の割當 圓滿解決

兩省妥協で

圓滿解決

國防費の割當

私はこの事實を既に、表皮的にではあるが、或る二三の書籍に就て学び得た。今更に會田氏の非凡なる才能と好意とに因つて之を知悉する機會を與へられ一層詳細に、偉大にして驚嘆すべき、又比類なき出来事を日本年代史上から學び得た事を感謝するものである。

神武天皇を日本の國祖と定めて、確乎たるミカドの御代が始られてから、二千五百年、明治天皇を近代日本精神の國父と仰ぎ奉つて以來六十年に亘つて、國民がその組織立てる集團の存在と、その國民自體に涵養されたる品性との中に於て、知り得る限りの最大なる改革を開始しを實行したのである。

日本に於ける無產階級發展史は、歐米に於けるそれの如く、苛烈なる事件を以て満たされ、種々の對立せんの傾向の頂點へと進みゆき、尖端的なロックが次から次へと生れ出で、先覺者、指導者の犠牲が重ねられて居る。

日本に於ては、意氣と熱情とにより、常に主觀的に打ち建てられたその運動の實行が良く行はれ、異に日本的な形態に到達し得るに至つた。而も此の如きが出來たのであつた

(以下次號)

◆論評
“O Japão”

佐慶田會

ALVARO DE CAMPOS
江見清鷹譯
讀む

コーエー

時報歌壇
歌詞 中井はじめ

登録

湯照遍

送料共。本舗戸北長狭通四島田太光興記
支店バイロード・ラキン安宅與平堂
Y. Ataque Caixa, 3046 S. Paulo

るものと明確に断言することが出来るやう。乃ち、原理を完全に消化し、且つ他民族の有つすべの非凡なる才能と好意とに因つて之を理解し得る云ふ人

てを完全に理解し得る云ふ人

の有なしを感謝して居る。

然し乍ら労働問題は明かに日

本に取つて最も新らしい問題の

一であると言ひ得やう。労働階

級の自覺による組織化の必要さ

に關し集中されたる議論は、一八

七〇年當時既に優秀にして理智

的なる一形態を取つて出現して

居た。其の當時既に「社會主義」

或は「共產主義」なる單語が使用

されて居たと信すべき事實すら

ある。

吹ひ込んで蜂吐き出すや南瓜花

虹おちて山豁然と満れり

芋の葉に包みてくれし初胡瓜

いとも少さき兒の墓に來ぬ

朝な朝なする珈琲に濃きうす

さあるが如かりわが懶みかも

◇ ◇ ◇

お風呂の代りに――

東ロンドンのある學校では、

毎年或る土曜日に海岸へ遠足す

る事になつて居た。

ちつちつやなジョンが、海へと

ひ込もうとして着物を脱いで居

ると、先生に見つかつてしまつた。

――ジョン！　お前は然し、見

事に汚くなつてゐねえ

そこで、この小つぽけな奴が答

へたものである

――先生、だから僕去年か

ら遠足を待つてたんです

彼にあらず。

――まあ、何て上品な、强さう

な、性的の良い、美しい……

――クルトさんのこと？

――イ、エ、あの人馬車のこ

と――

夏やせの面さらしけり青風

インキ壺に吸ひつけた一疋の蠅

を見つめる

さびしさは此の一と日子供な

さり

歸化手續申請申請

轉化手續申請御願ひ申請の方は左記

の事務所に御問合せ下さい

迅速且つ安價に御取計ひ致しま

す

辯護士 Dr. Carlos Monteiro Brisolla

Escritório: Rua Ribeiro Badaró, 10 S. Paulo

内外雜貨食料品店

Rua Britânia, 8-A S. Paulo

(Pinheiros)

餅

お

正月のお餅の御用に

同イルマン・シンプリシアナ街二〇番

村上菓子店

同コンセレーラ・フルタード街十七番

清寺商店

部

に於て断然群を抜く弊店へ

今年も御注文の程御願ひ申します

お雜食用の上等餅米が着荷致しました

調製の技巧

に於て断然群を抜く弊店へ

今年も御注文の程御願

第四十九回

「お貴公、元助殿は拙者がお助けしたのだ」
と披露に抜け目のない段四郎。
それを耳にも入れない青蛇は、
慌てゝ笠をとりながら、

「拙者は遠州倉藤氏に代つて、
中島刀兵衛などと共にご助力いたしに參つた者、美濃徳の谷の出生で郷來城と申します」

と名乗つて頭をさげた。青蛇にも矢張り姓名はチヤンとあつた郎といつたな、これから用は

「さて今度はだ、確嘉藤段四郎といつたな、おれにあるのだ」
形勢中和と恩ひの外、青蛇の郷來城、青光りの顔を段四郎にビタと向けた。

「どんな用か知らぬが、さうおこるな、おこるその都度壽命が減る事を貴公知らぬちやないが、知れたものでない、命惜みして、武士になつてをられるから、何で我々を偽つた」

「武士はけふ死ぬか、あす死ぬか、永女は軽くうなづいたのみだつた、熊八郎は後に從つてゐる僕への新街道、それよりなほ行け三州池鯉鮒を過ぎて今村、そこを少し行くと右にはひれば大瀬街道、その先の左の路は名古屋市、疑ひもなく郡勝馬の武士は、昭和八年一月十一日昭和八年一月十二日

昭和八年一月十五日

昭和八年一月十九日

昭和八年一月二十日

昭和八年一月二十一日

昭和八年一月二十二日

昭和八年一月二十三日

昭和八年一月二十四日

昭和八年一月二十五日

昭和八年一月二十六日

昭和八年一月二十七日

昭和八年一月二十八日

昭和八年一月二十九日

昭和八年一月三十日

昭和八年一月三十一日

昭和八年一月三十二日

昭和八年一月三十三日

昭和八年一月三十四日

昭和八年一月三十五日

昭和八年一月三十六日

昭和八年一月三十七日

昭和八年一月三十八日

昭和八年一月三十九日

昭和八年一月四十日

昭和八年一月四十一日

昭和八年一月四十二日

昭和八年一月四十三日

昭和八年一月四十四日

昭和八年一月四十五日

昭和八年一月四十六日

昭和八年一月四十七日

昭和八年一月四十八日

昭和八年一月四十九日

昭和八年一月五十日

昭和八年一月五十一日

昭和八年一月五十二日

昭和八年一月五十三日

昭和八年一月五十四日

昭和八年一月五十五日

昭和八年一月五十六日

昭和八年一月五十七日

昭和八年一月五十八日

昭和八年一月五十九日

昭和八年一月六十日

昭和八年一月六十一日

昭和八年一月六十二日

昭和八年一月六十三日

昭和八年一月六十四日

昭和八年一月六十五日

昭和八年一月六十六日

昭和八年一月六十七日

昭和八年一月六十八日

昭和八年一月六十九日

昭和八年一月七〇日

昭和八年一月七一日

昭和八年一月七二日

昭和八年一月七三日

昭和八年一月七四日

昭和八年一月七五日

昭和八年一月七六日

昭和八年一月七七日

昭和八年一月七八日

昭和八年一月七九日

昭和八年一月八〇日

昭和八年一月八一日

昭和八年一月八二日

昭和八年一月八三日

昭和八年一月八四日

昭和八年一月八五日

昭和八年一月八六日

昭和八年一月八七日

昭和八年一月八八日

昭和八年一月八九日

昭和八年一月九〇日

昭和八年一月九一日

昭和八年一月九二日

昭和八年一月九三日

昭和八年一月九四日

昭和八年一月九五日

昭和八年一月九六日

昭和八年一月九七日

昭和八年一月九八日

昭和八年一月九九日

昭和八年一月一〇〇日

昭和八年一月一〇一日

昭和八年一月一〇二日

昭和八年一月一〇三日

昭和八年一月一〇四日

昭和八年一月一〇五日

昭和八年一月一〇六日

昭和八年一月一〇七日

昭和八年一月一〇八日

昭和八年一月一〇九日

昭和八年一月一〇〇日

昭和八年一月一〇一〇日

昭和八年一月一〇二〇日

昭和八年一月一〇三〇日

昭和八年一月一〇四〇日

昭和八年一月一〇五〇日

昭和八年一月一〇六〇日

昭和八年一月一〇七〇日

昭和八年一月一〇八〇日

昭和八年一月一〇九〇日

昭和八年一月一〇一〇〇日

昭和八年一月一〇二〇〇日

昭和八年一月一〇三〇〇日

昭和八年一月一〇四〇〇日

昭和八年一月一〇五〇〇日

昭和八年一月一〇六〇〇日

昭和八年一月一〇七〇〇日

昭和八年一月一〇八〇〇日

昭和八年一月一〇九〇〇日

昭和八年一月一〇一〇〇〇日

昭和八年一月一〇二〇〇〇日

昭和八年一月一〇三〇〇〇日

昭和八年一月一〇四〇〇〇日

昭和八年一月一〇五〇〇〇日

昭和八年一月一〇六〇〇〇日

昭和八年一月一〇七〇〇〇日

昭和八年一月一〇八〇〇〇日

昭和八年一月一〇九〇〇〇日

昭和八年一月一〇一〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇二〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇三〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇四〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇五〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇六〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇七〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇八〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇九〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇一〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇二〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇三〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇四〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇五〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇六〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇七〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇八〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇九〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇一〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇二〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇三〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇四〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇五〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇六〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇七〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇八〇〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇九〇〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇一〇〇〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇二〇〇〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇三〇〇〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇四〇〇〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇五〇〇〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇六〇〇〇〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇七〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日

昭和八年一月一〇八〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日